

環境学委員会環境政策・環境計画分科会

(第 26 期 第 5 回)

議事要旨

1. 日時等

令和 7 年 5 月 28 日（水）10：00～12：00 オンライン開催

2. 出席者（敬称略）

馬奈木俊介、浅見真理、大久保規子、大塚直、栗山浩一、香坂玲、柘植隆宏、中野牧子、
藤井健吉

3. 議 題

- （１） 報告「自然資本の管理: 政策と経営」（馬奈木俊介委員）
- （２） 意思の表出について
- （３） その他

4. 議事要旨（敬称略）

- （１） 報告「自然資本の管理: 政策と経営」（馬奈木俊介委員）

自然資本を中心として、包括的富と GDP の関係、自然資本の算定方法、自然資本のクレジットの活用が必要、ウェルビーイングと自然資本の関係、スコープ 3 を算定するモデルの構築などについて報告いただいた後、出席者と報告者の間で質疑が行われ、ヴォランタリークレジットの扱い、企業のトレーサビリティの認証の意義、カーボンクレジット・生物多様性クレジットを別々に設定するよりも自然資本のクレジットに統合することが望ましいこと、citizen science の利用、水産業に対する ESG の必要、などについて議論がなされた。

- （２） 意思の表出について

自然資本に関しては骨子案 8.2 が関連する。この点の記述について、特に造詣の深い、馬奈木、栗山、柘植の 3 名の先生方で検討いただくことになった。